

子どもたちのみずみずしい感性 いいですね

「三郷っ子だより」第6号を発行以降、上毛新聞に掲載された(8/10以降)本校児童の力作を以下に紹介いたします。三郷小の子どもたち、頑張っています。いいですね。

<8月11日(日)「上毛新聞 子ども新聞 週刊風っ子」12・13面に掲載>

協力して地域の歴史学ぶ 6年 石橋 煌大さん

雨の中で行われた地域巡り。6年生になって初めての大きな行事でした。班行動で自分たちだけで行く場所もありました。そんな地域巡りで二つのことが印象に残りました。

一つ目は古墳です。班で最初に目指した場所がお富士山古墳でした。お富士山古墳は全長125㍍もあります。二つ目は地域の人との交流です。散歩している人には必ずあいさつをするようにしました。そうすることでお互いに良い気分になれたらいいなと思ったからです。地域を巡るだけでなく、あいさつをして地域の人と交流しました。

心配なこともあったけど仲間と協力して地域の歴史と伝統を学ぶことができました。

誇らしい長持形石棺 6年 鈴木 龍さん

僕は地域巡りで、印象に残っている場所が二つありました。

一つ目は東光寺です。理由は四つあります。一つ目は何と言っても大きさです。他のお寺と比べると大きくて迫力がありました。二つ目は広い敷地です。この広い敷地の中に本堂などいくつかの建物があつたのも良かった点です。そして三つ目は観音像です。寺の外からでも見ることができるほどの大きさです。優しく見守られているように思えました。四つ目は本堂の内部です。僕は写真係だったので本堂に入ることができました。中は金の装飾でとても美しかったです。

印象に残った二つ目は、お富士山古墳です。理由は二つあります。一つ目は全長125㍍もある大きな前方後円墳だということです。両毛線ができたことにより前方部の一部が切断されていますが、前方後円墳の形状をとどめています。二つ目は県指定重要文化財の長持形石棺があることです。県指定の重要文化財が学校の近くにあることは、とても誇らしいことです。

<8月15日(木)「上毛ジュニア俳壇・朝の一句」掲載>

オレスイカミギ、ミギ、ヒダリこっちきた 5年 横塚 旭輝さん



<8月18日(日)「上毛新聞 子ども新聞 週刊風っ子」13面に掲載>

なくてはならない税金 6年 四方川 結依さん

私は学校で租税教室に参加しました。6年生全員で体育館に集まり、講師にお話をしてもらいました。

今回の教室は今までと違い、ほとんどがクイズ形式になっていました。ただ聞いているだけでなく、クイズがたくさんあつたので楽しかったです。

講師の人たちはとても分かりやすく私たちに教えてくれて、税金の使い道が分かりました。租税教室で見たビデオでは、税金の大切さや税金がなくなるとどうなるのかが分かりました。また、働いていてお金を稼いでいるなら、子どもでも税金を払わなくてはならないという話があり、聞いた時、とても驚きました。

私は「なぜ税金なんて払わなくてはならないの」と思っていました。でも、この租税教室を通して税金はみんなが気持ちよく暮らすために、なくてはならないものだということが分かりました。この教室は、とてもよい経験になったと思っています。

地元の歴史文化学ぶ 6年 角田 璃音さん

私たちの学校で地域巡りをしました。いろいろな所に行きましたが、どれも初めて訪れる場所です。とても楽しかったです。

特に思い出に残った場所が二つあります。一つ目はお富士山古墳です。古墳の話聞いて、その歴史や造られた時代について学びました。特に興味深かったのは、ふだん見られ

ない石棺は全長285㍓と大きく、昔の人がどのようにしてこんなに大きいものを作ったのか不思議に感じました。

二つ目は全東院です。全東院は落ち着いた雰囲気のお寺でした。

地域巡りをして、ふだんあまり気付かなかった地元の歴史や文化について学ぶことができました。修学旅行ではもっと遠くの知らない場所に行き、たくさんの新しいことを学びたいと思います。今回の地域巡りの経験を生かして、学校行事でもたくさんのことを発見し、思い出をつくりたいです。

<8月22日(木)「上毛ジュニア俳壇」掲載>

れいぞうこあけたらアイスがなかったよ 2年 武井 愛佳さん

夕立が暴れて去って日が暮れる 6年 松本 芽依さん



<8月25日(日)「上毛新聞 子ども新聞 週刊風っ子」13面に掲載>

継続と協力を心がける 6年 櫻田 帆帆子さん

1学期に自分が成長したと思うことが二つあります。

一つ目は継続することです。何かに興味を持ち始めたら諦めずに最後の最後までやりきります。例えば自主勉強です。自分がやると決めたら6年生が終わるまでやります。そんな継続する力をもっと高めたいです。

二つ目は協力することです。行事の中に地域巡り、マーチング、修学旅行の計画など、すべて一人でできることはありません。だから、たくさんの人と協力したり、助け合ったりすることは、生きていくうえでとても大切だと、あらためて思いました。

継続と協力することはいつ、どこでも使えます。夏休みが明けた2学期からも、この二つを心がけてもっともっと成長したいです。

<8月29日(木)「上毛ジュニア俳壇」掲載>

おとうさんあついときでもじてんしゃだ 2年 大久保 瑠莉さん

水田にもひとつ大空かがやいて 5年 星野 陽咲さん

羽運ぶありの神輿よどこへ行く 6年 輿石 愛さん



<8月31日(土)「上毛ジュニア俳壇・朝の一句」掲載>

夏の空ボールとばしてゆうしょうだ 5年 秋谷 優人さん

<9月1日(日)「上毛ジュニア俳壇・朝の一句」掲載>

ぶどうのきそだててる名がわからない 2年 鹿沼 恵莉保さん



<9月1日(日)「上毛新聞 子ども新聞 週刊風っ子」12・13面に掲載>

チームワーク学ぶ 6年 武政 紗里奈さん

私が地域巡りで学んだことはチームワークです。地域巡りでは一人一人の役割がありました。私は副班長になりました。この役割を果たすことでチームワークを学びました。

グループ活動で伊勢崎市の歴史を知ることが目標でした。地域を巡っていると、先生に「この班はチームワークがいいね」と言われました。役割を果たすことで、チームワークが生まれ、協力し合っていることが分かりました。

地域を回り終わった後、学校に戻ると一番で戻れたことが分かりました。チームワークがいいと、いいことがたくさんあって、悪いことがなくなるということを知りました。

私は地域巡りで学んだことを生かして、この後の修学旅行でも協力し合って、安全に帰れるようにしたいと思います。

教えてもらって泳げた 6年 松原 雫さん

私は1学期で成長したと感ずることが、二つあります。

一つ目はマーチングです。5年生の時から毎日、20分休みと昼休みにマーチングの練習をしていました。でも、6年生になったらカラーガードになったので20分休みに練習することができなくなってしまいました。それで昼休みに委員会がない日は、毎日練習しました。上手になっていたの、練習の成果が出たと思います。

二つ目はプールの授業です。私は泳ぐのが苦手、授業が始まった時は全く泳げませんでした。でも、今年は泳げる子に教えてもらって、少し泳げるようになりました。水泳のテストの時、プールの半分まで泳げました。教えてくれた子の説明が上手だったからです。

私は1学期でたくさん成長することができました。2学期では1学期よりもっとたくさん成長したいです。